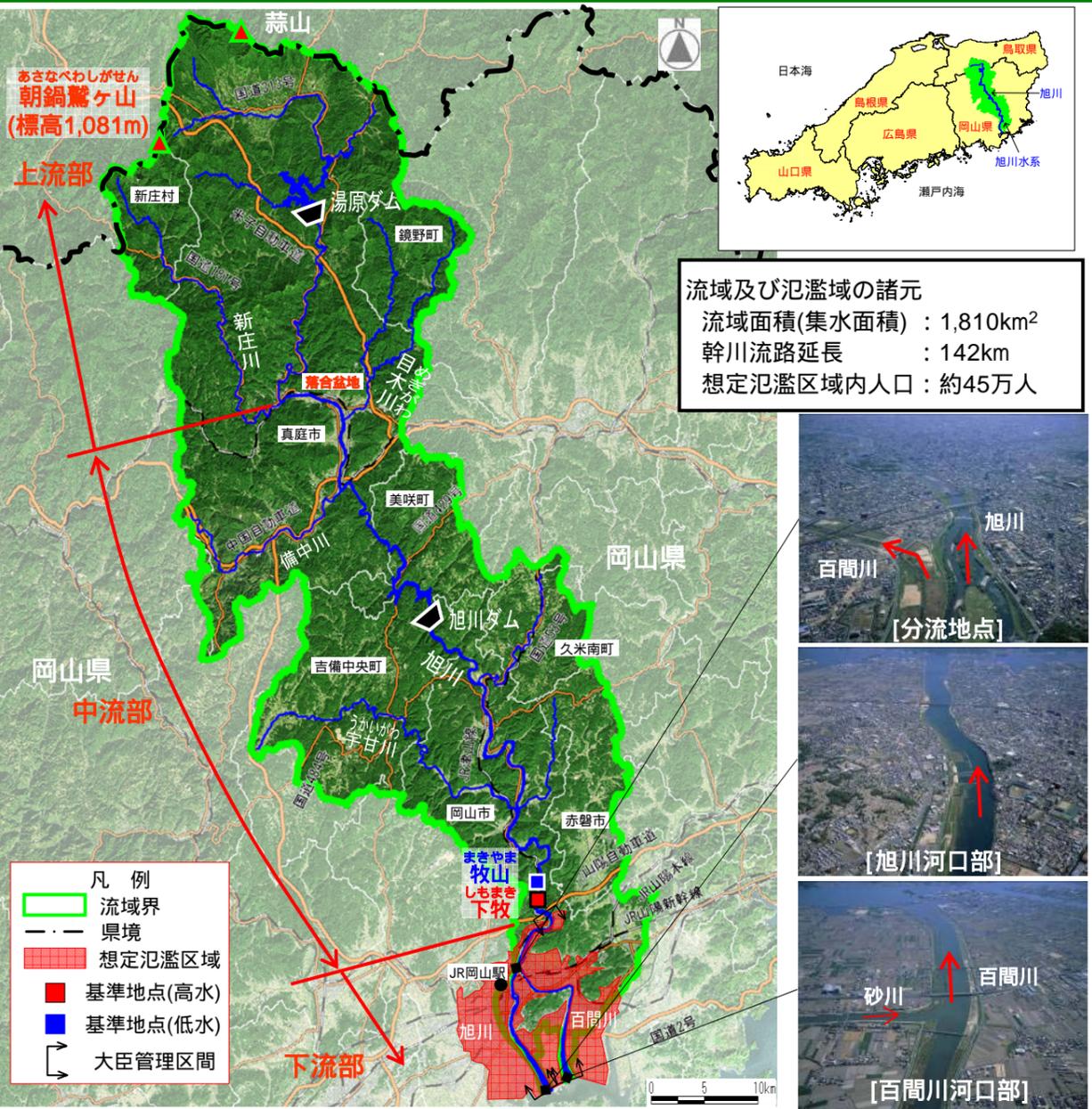


旭川水系河川整備基本方針の概要

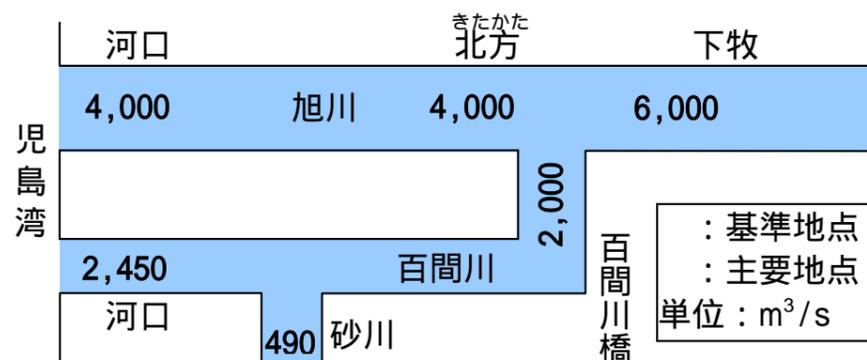
流域及び河川の概要

岡山県の中央部に位置し、下流部は資産が集積する岡山市街地を貫流、河口部は干拓地で形成され、ゼロメートル地帯が広がるため、洪水・高潮等に脆弱な地形
下流部には鳥城で知られる岡山城とそれに対面する中州には日本三名園の一つである岡山後楽園が位置し、社会、文化の基盤となっている



災害の発生の防止又は軽減

工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、既往洪水からの検討等を総合的に検討し、基本方針においても既定計画と同様に下牧地点における基本高水のピーク流量を8,000m³/sと設定



基本高水と計画高水との差分については、既存施設の有効活用で対応

河道掘削等による河積の確保にあたっては、河道の維持等に配慮し、上流からの土砂供給や河道への堆積状況等を監視・把握しながら計画的に実施

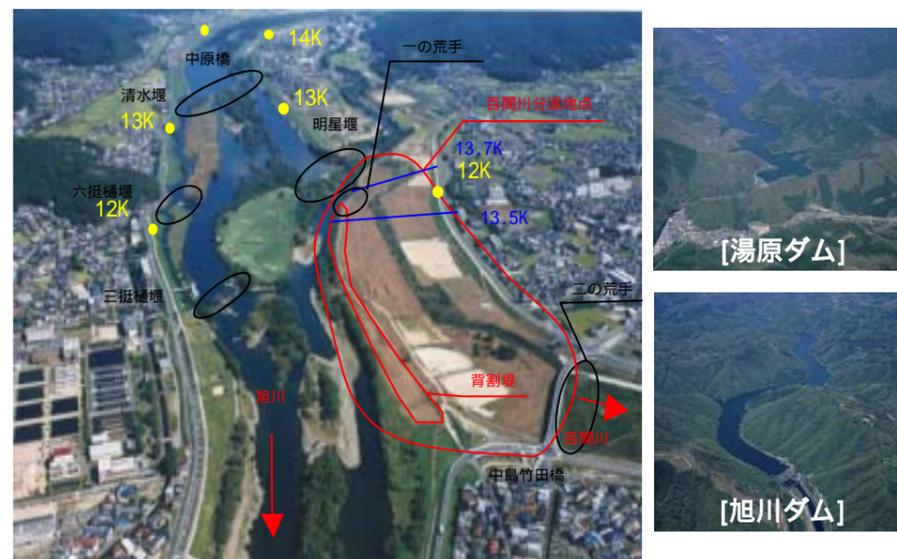
河道内の樹木については、樹木による障害が洪水位へ与える影響を把握するために必要な調査を実施し、河川環境の保全に配慮しつつ、洪水の安全な流下や百間川へ適正な分派を図るため、計画的な伐開等を実施

百間川への分派機能を有する一の荒手、減勢効果を有する二の荒手、背割堤等の施設の改修を実施

百間川は分派点の改修と合わせて百間川河口水門を増築し、適正な機能確保を図る

下流部には干拓によりできた人口・資産が集中する岡山市街地があり、低平地であるため高潮対策や内水対策を実施

【計画高水流量配分図】



河川環境の整備と保全

魚類が河川の上下流や本支川等を往来できるよう水域の連続性確保に努める
アユの産卵場である瀬、オヤニラミが生息する水際植生、水生植物のオニバスが生育するワンド、多様な生物の生息・生育・繁殖環境となっている河口干潟やヨシ原などの良好な自然環境の保全に努める
旭川下流部の岡山後楽園周辺等の貴重な歴史的空間の水辺景観の維持・形成に努める
流域の歴史・風土・文化を形成してきた自然の恵みを活用しつつ、川づくりを通じて上下流部の交流を促進する



河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携し必要な流量の確保に努める
牧山地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、かんがい期は概ね26m³/s、非かんがい期は概ね13m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする